



日本語の教師志望者から現職教師までを対象にした、唯一の実用情報誌

『月刊日本語』 8月号

今月号で、日本語教育や外国人をめぐる国のさまざまな動きが見えてくる

2009年7月9日(木)発売

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照磨)より、日本語教育の実用情報誌『月刊日本語』最新号のご案内を申し上げます。本誌は、日本語を教えたいと思っている方や、実際に日本語を教えている先生方を対象に、最新の日本語・日本語教育情報を中心に、国内外の教育事情、日本語を教える上で役立つアイデアや教授法など、いまずく使える情報を毎月お届けしています。

特集:どうなる? 外国人をめぐる国の動き



<本誌表紙>

今、各省庁や法人で、外国人に関する施策が、大変な勢いで進められています。しかし、この動きがあまりに多方面にわたるため、全体が捉えにくいのが現状。『月刊日本語』は、外国人をめぐる国の動きを網羅し、テーマ別に徹底取材しました。

外国人に関する施策はどこが行っているのか?

外国人施策を企画推進している国の担当部署と関連団体を、一覧でご紹介します。日本語教育関係の施策が、様々な機関で扱われていることが見て取れます。



【本体】705円(税込740円)

【サイズ】B5判

【雑誌コード】13371-08

好評連載

異文化理解に関するものから、日本語教育能力検定試験の対策講座まで、幅広いテーマで連載しています。

例えば...

- インタビュー「異文化と出会う」
- 日本語教師が知っておきたい外国人に関する法律知識
- 検定重要分野攻略 など

外国人に関する最新の国の動きを徹底取材!

看護師・介護福祉士

来日した候補者の、日本語研修と現場での様子

留学生

福田内閣「留学生30万人計画」の進捗。「アジア人財資金構想」の検証

外国人労働者

厚労省が行う緊急対策、2事業の現実

移民受け入れ

今国会で審議中の入管法改正案の内容

坂中英徳(移民政策研究所)、井上 洋(日本経団連)ら4氏が、徹底討論

国立国語研究所

廃止の危機に瀕してから、有志に守られるまで、報道が伝えなかった真実

『月刊日本語』編集部は、国内外の日本語教育や、日本に暮らす外国人に関する事例を取材し続けています。本リリースについてのお問合せ、見本誌のご請求、編集部への取材依頼などは下記までご連絡ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合) e-mail: menet@alc.co.jp

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12 電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971